12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 （沖縄）	◎	－	－	－
	○	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・催事企画の好調に加え、インバウンドが増加している。
	○	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・夏商戦終了後も来客数の減少は限定的で、10月の酒税改定による酒類の売上や来店頻度の減少幅も想定を下回った。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客単価・来客数共に増加している。
	○	その他専門店［書籍］（部長）	来客数の動き	・来客数・売上共に微増となっている。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新型スマートフォンの発売により買換え需要が高まり、販売台数の増加を背景に客単価・売上共に好調を維持している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店は増加する一方、小売店は減少しており、客の様子もばらつきがあることから、景気判断が難しい状況にある。
	□	一般小売店［土産］（営業部長）	販売量の動き	・売上は前年並みにとどまり、天候等の影響で入域観光客の伸びも鈍化している。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・10月は台風接近など天候不順の影響で、日によって来客数にばらつきが生じた。
	□	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新車販売台数・新規来店客数共に低迷し、厳しい状況が続いている。
	□	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・来客数が予想を下回っている。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・繁忙期の後も団体・個人需要は堅調で、ラーケーションの普及もありファミリー層の利用も維持されている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・旅行商品の販売量は徐々に減少しているものの、価格は1.2～1.4倍に上昇している。そのため、売上は横ばいだが、利益率は低下している。
	□	観光名所（職員）	来客数の動き	・週末の悪天候が影響し、来客数が伸び悩んでいる。
	□	住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・建売分譲住宅への問合せが引き続き好調である。
	□	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・中古住宅等の問合せは横ばいで、低価格帯の物件に需要がみられる一方、収益物件では融資条件を重視する傾向にある。
	▲	一般小売店［酒］（店長）	お客様の様子	・物価高騰を背景として、飲食店は酒類を安価なスーパー等で自ら購入するなど、経費削減を図っている。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・夏の観光・レジャー需要の一巡により来客数が減少し、物価高による節約志向も根強く、景気は３か月前に比べてやや悪化している。
	▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・相次ぐ値上げにより、売上は維持されているものの、販売数量は減少傾向が続いている。
	▲	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・観光客の減少に加え、台風や悪天候の影響で来客数が減少している。
	▲	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・前年のＯＳサポート終了に伴うパソコンの駆け込み需要やおきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン終了の反動減に加え、台風による店舗休業も重なり、売上が減少している。
	▲	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・売上が落ち込んでいる。
	▲	その他専門店［陶器］（製造）	お客様の様子	・注文数に大きな変化はないものの、周囲の声から日本人の消費意欲の低下がうかがえる。
	▲	観光型ホテル（専務取締役）	単価の動き	・台風の影響で稼働率が低下し、売上・利益共に前年を下回った。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・物価上昇に所得の伸びが追い付かず、家計の負担が増加し、生活が厳しさを増している。

	×	その他飲食店［バー］（経営者）	競争相手の様子	・大型飲食店でも来客がない日があるなど、飲食業全体で来客数が減少しているとみられる。
	×	その他飲食店［ファーストフード］（総務部）	来客数の動き	・７月の繁忙期と比べると景気は悪化しているものの、前年比ではほぼ横ばいとなっている。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・７月の販売室数が前年比17%増加に対し、10月は前年比１%減少で、マイナスに転じている。
企業動向関連 （沖縄）	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（総務部）	受注価格や販売価格の動き	・景況感は改善しているものの、依然として物価上昇が賃金の伸びを上回っており、消費者の節約志向は根強い。今後の消費・取引動向を注視している。
	○	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共・民間の工事需要や増産を背景に、売上が回復している。
	□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建築資材が高騰しているが価格転嫁できず、発注者との交渉難航による利益減少を懸念している。さらに、生コンクリートの値上げも予定されており、不安に感じている。
	□	輸送業（経営企画部）	それ以外	・売上・受注量は前年比で増加しているものの、海上輸送の燃料費調整金など物流コストの負担が重く、利益の実質的な増加には至っていない。
	□	通信業（総務）	それ以外	・物価上昇に賃上げが追い付かず、実質的な購買力が低下し、生活の余裕が失われている。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・為替変動に加え、金利上昇への懸念もあり、消費マインドは慎重になっているとみられる。
	▲	＊	＊	＊
	×	－	－	－
雇用関連 （沖縄）	◎	－	－	－
	○	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・ＩＴ・情報通信関連に加え、年末の繁忙期を見据えたホテル・飲食サービス関連の求人も増加している。
	○	学校［専門学校］（就職担当）	求人数の動き	・2028年３月卒業予定者向け採用の問合せは前年並みで推移し、10月以降の就職活動本格化に伴い、医療事務関連の求人が増加している。
	○	学校［大学］（就職支援担当）	求人数の動き	・大学新卒向け求人数は横ばいながら、多くの企業で初任給が引き上げられ、求職条件は改善している。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件は確保できているものの、求職者とのマッチングが難航しており、人材確保が引き続き課題となっている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比で減少している。
	▲	－	－	－
	×	－	－	－